

方面	方面隊訓練検閲	(1面)
1師団	師団訓練検閲	(3面)
12旅団	秋季演習場定期整備	(4面)
1施設団	鳥インフルエンザ災害派遣	(5面)
関東補処	04兵站・衛生訓練	(5面)



令和4年12月25日 第1055号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」  
総監要望事項「克己」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙

発行所：方面総監部広報室  
住所：東京都練馬区大泉学園町  
専用線：8-37-2446



地上映像伝送器材の開設(東部方面システム通信群)



航空機整備のための回収(東部方面航空隊)

方面隊は11月10日から航空隊及び東部方面シス  
テム通信群に対し、令和  
14日までの間、東部方面

# 令和4年度方面隊訓練検閲

## 首都防衛のため訓練成果を発揮

4年度方面隊訓練検閲を  
実施した。  
本検閲は日米共同統合  
演習(RS23)の場を活  
用し、グレイソン事態  
から武力攻撃間の部隊の  
行動として、航空隊に対  
しては他職種部隊等と協  
同連携した戦闘・戦闘支  
援等を、システム通信群  
に対しては

は効率性及び融通性を保  
持したシステム通信組織  
の構成・維持・運営を主  
要検閲項目として実施し  
た。  
また状況下の行動に先  
立ち、各受閲部隊は弾薬  
受領、隊容検査、作戦会  
議、警備訓練等を実施し  
た。

統裁官(総監部防衛副  
長)は訓示において「教  
育訓練の成果を最大限に  
発揮せよ。安全管理、  
健康管理、情報管理及び  
物品管理の徹底」の2点  
を要望した。  
両部隊は朝霞・立川・  
木更津・勝田・高田等の  
方面区内各駐屯地の他、  
海・空自基地、演習場及  
び生地に展開後、日ごろ  
の訓練成果を遺憾なく発  
揮し、師・旅団等と緊密  
な連携を図りつつ、首都  
防衛作戦における各々の  
任務を完遂した。

関連⑥面

# 自衛隊音楽まつり 東方から3個音楽隊や太鼓等が支援

東部方面音楽隊、第1音楽隊、第  
12音楽隊、方面選抜らっば隊によ  
る演奏



会場中に大きな音を響かせた  
大迫力の太鼓演奏

方面隊は11月18・19日  
の両日、日本武道館で実  
施された令和4年度自衛  
隊音楽まつりを支援した。  
今回は「WITH」：回  
せ、響き。動かせ、新世  
界。「新しき世代、その  
力とともに」をテーマ  
として3年ぶりの開催と  
なった。方面隊からは東  
部方面音楽隊、第1音楽  
隊、第12音楽隊、方面選  
抜らっば隊、朝霞振武太  
鼓、松本アルプス太鼓、  
滝ヶ原雲海太鼓が出演し  
た。また師団と旅団によ  
り編成された演技支援隊  
が、緑の下の力持ちとし  
て舞台演出を支援し、ス  
テージ上で紹介されると  
聴衆から温かく盛大な拍  
手が起った。  
各出演部隊は計6回に  
わたる公演において、華  
やかで力強い演奏を披露  
し、約1万3千人の聴衆  
を魅了した。

# 大型バスにカーラッピング 洗練されたデザインで親近感を醸成



東部方面輸送隊のデザイン



東部方面音楽隊のデザイン

方面隊が保有する大型バス6  
両(東部方面輸送隊5両及び東  
部方面音楽隊1両)に対し、カー  
ラッピングによるデザインが施  
され、11月29日に完成した。  
若者に受け入れられやすい爽  
やかなイメージをもとに、東部  
方面隊のマーク等を使用して親  
近感の向上を図った。  
完成したバスを見て、輸送隊  
長は「洗練されたデザインで非  
常に良い。遠方からの視認性も  
高く、隊員からも大変好評で、  
また音楽隊長は「明るく華やか  
で大変素晴らしいデザイン。派  
遣演奏先でも地域住民の方々に  
親近感を持っていただけたと思  
う」と述べた。

# 東部方面音楽まつり開催

方面隊は令和5年2月  
11日、和光市民文化セン  
ターサンアセリアにおい  
て、令和4年度東部方面  
音楽まつりを開催する。  
近年、新型コロナウイルス  
感染症の影響により中  
止を余儀なくされる中、  
聴衆を招いて実施するの  
は4年ぶりである。  
今回は「あつまれ！ヒ  
ーローの泉」の「うずら児童合唱団」  
「みどりのそよ風児童合  
唱団」埼玉県立和光高  
校吹奏楽部が出演する  
他、司会は声優として活  
躍している宮本 佳那子  
さんを予定している。  
当日は10時30分開演と  
14時30分開演の2回公演  
が行われ、入場は無料。  
東部方面隊ホームページ  
にて12月20日から1月11  
日まで応募を受け付けてい  
る。

令和4年度  
東部方面音楽まつり  
あつまれ！ヒーローの泉

令和5年2月11日(土・祝)  
第1回公演 10時30分開演(9時30分開場)  
第2回公演 14時30分開演(13時30分開場)  
和光市民文化センター サンアセリア大ホール

演奏部隊：東部方面音楽隊 第1音楽隊 第12音楽隊  
朝霞振武太鼓 松本アルプス太鼓 滝ヶ原雲海太鼓  
特別出演：うずら児童合唱団 みどりのそよ風児童合唱団 埼玉県立和光高等学校吹奏楽部  
司会：宮本佳那子(声優)  
協力：(公財)和光市民文化センター

主催：自衛隊東部方面隊総監部広報室  
お問い合わせ先：陸上自衛隊東部方面隊総監部広報室  
電話：048-460-1711(内線2438) E-mail: admin-pr@innet.gdsf.mof.go.jp

# 第2回地方協力本部長会議 募集目標達成のため一致団結

方面隊は11月24日、朝霞駐屯地において令和4年度第2回地方協力本部長会議を実施した。

本会議は令和4年度のこれまでの各種業務の現状及び成果を踏まえ、今年度の各種目標達成に向けて、今後の取り組みについて認識の共有を図ることを目的としている。当日は各地本部長、東部方面混成団長の他、第1師団及び第12旅団司令部、海・空自衛隊、北関東防衛局等からも参加があり、総監訓示、総監部からの連絡事項、各地本の募集広報等の強化、YouTubeやコンビ二店舗での自衛官募集CM放映、女性自衛官による女性限定交流会等の工夫を凝らした施策が紹介され、今後の募集活動の資とした。

また各地本の募集施策の成果発表では、オンライン募集広報等の強化、YouTubeやコンビ二店舗での自衛官募集CM放映、女性自衛官による女性限定交流会等の工夫を凝らした施策が紹介され、今後の募集活動の資とした。

整えることが何より重要である。そのため各地本は、募集目標達成の追求、入隊者等のフォロー、次年度の準備をバランスよく実施せよ。また自衛隊に対する信頼性の向上にも留意して任務を遂行せよ」と述べた。



募集施策を紹介する各地本長



総監訓示

## 国境を越えて親身な支援を

## ジブチ災害対処能力強化支援

方面隊は11月24日から令和5年1月4日までの間、ジブチ共和国において、令和4年度ジブチ災害対処能力強化支援を実施している。

本支援はわが国とジブチ共和国との相互理解及び信頼醸成を促進して、

自衛隊活動拠点の長期的かつ安定的な活用を目指すとともに、ジブチ軍が自立的かつ主体的に施設機械操作及び施設機械整備に係る実務、教育訓練を実施し得る能力の強化を図ることを目的としている。方面隊からは14人が派遣され、ジブチ国防軍20人に対し施設機械操作及び施設機械整備に係る教育を行う。



総監（奥）に対する出国報告



現地で調整する派遣隊員

11月21日には総監への出国報告が実施され、総監は「限られた期間ではあるが、日本の親切丁寧かつ親身な心で支援することに意味がある。お金や物では補えないものを伝えてきてくれればありがたい。体調に留意しつつ任務を達成し、年明けに諸官たちの元気な姿に会えることを楽しみにしている」と述べた。

## 画像等撮影技術教育

## レベルに応じて実践的な教育



初級者クラスでの動画実習

方面隊は12月5日、朝霞駐屯地において令和4年度画像等撮影技術教育を実施した。

本教育は方面各隷下部隊の写真撮影要員に対し、写真及び動画撮影技術指導を実施し、撮影技術の向上を図ることを目的として行われた。

教育は初級者クラスと中・上級者クラスに分け、初級者クラスは東部方面システム通信群本部中隊「いきい」と語った。

映像写真小隊写真班が、中・上級者クラスは部外講師が担当した。

初級者クラスでは座学による映像写真理論、カメラの取扱いや要領、撮影・動画実習等を、中・上級者クラスではカメラの応用設定、照明の特性、速写撮影実習等を教育した。

初級者クラスに参加した練馬駐屯地広報班 新明1曹は「カメラの基本的な操作要領から教えてもらい大変分かりやすかった。全くの初心者だったが、今後少しでも部隊に役立てる写真が撮影できるよう自学研鑽を重ねていきたい」と語った。

## 広報センター 人気イベントが続々と開催



体験搭乗を楽しんだ来場者



MCVを撮影する来場者

広報センターは11月19日に「オートムフェア」を開催した。オートムフェアでは16

式機動戦闘車(MCV)の走行展示、ドローンの飛行展示、戦闘糧食II型(ビーフシチュウ)の体験食等が行われ、371人が参加した。

またヘリコプター体験搭乗では、UH-1Jにより東京都内やさいたま新都心上空を経路として約7分間のフライトを行い、98人が参加した。

来場者からは「MCVの迫力が凄い。ドローンの操縦もとても良かった」「ヘリからの景色が最高だった」「ビーフシチュウがおいしかった」などの感想があった。

広報センターのホームページでは、イベントの開催について定期的にお知らせや募集をしておりますので、ご確認ください。

## 「軽易な部隊・駐屯地見学」を推進

方面隊は現在「軽易な部隊・駐屯地見学」を推進している。これは、自衛官募集対象者及び入隊予定者を対象に、生活基盤を主体に軽易な部隊・駐屯地見学の系統要領を定め、各地方協力本部の整備円滑な見学実施に資することを目的としているものである。

新型コロナウイルスの影響により各種イベントが中止となっている中、募集対象者に対する募集広報の機会が激減して志願者数が低下傾向にある。このため、方面隊では部隊等の負担を考慮しつつ、軽易に陸上自衛隊を説明できる機会を創出するとともに、自衛官志願者の多様なニーズ、自衛隊での生活や勤務イメージ構築に資するため、臨機に部隊及び駐屯地を見学できるよう、通達により見学手続きの実施要領を新たに定めた。

この「軽易な部隊・駐屯地見学」により、募集対象者がリアルな駐屯地の日常をイメージアップすることも、入隊予定者はその意欲を高めることを期待している。



朝霞駐屯地浴場を見学する募集対象者

第1師団

第3次訓練検閲を実施

1後支連・1特防 任務完遂!



訓示する統裁官

師団は10月15日から22日までの間、東富士及び北富士演習場において第1後支連及び第1特防隊が第1後支連支援隊及び第1特防隊の訓練検閲を実施した。本訓練検閲は師団の総合戦力の最大限発揮に必要な能力の向上を目的としており、師団の攻撃の行動を検閲科目として実施し、その練度を確保した。



FH-70を整備する1後支



師団指揮所での攻撃命令下達



緊急患者輸送をする1後支



弾薬を輸送する1後支

機関銃によるドアガン射撃 射撃手の練度向上を図る



ヘリコプターからの射撃

第1飛行隊は10月31日から11月4日までの間、東富士演習場において令和4年度ヘリコプターからの機関銃(MINI-MI)射撃訓練を実施した。本訓練はヘリコプターから射撃を行う第1飛行隊の機関銃手の要員を養成するとともに、射手と操縦手の連携要領等の



汚染地域を除染する1特防



対空戦闘する1特防



負傷を伴う汚染人員の除染と治療をする1特防

た。連隊長は各整備大隊に対し、損耗した被支援部隊の装備品15件の効果的な整備を、また補給隊に食料、燃料等の補給支援、入浴、洗濯等の必需品の維持増進に寄与し、その任務を完遂した。▼1特防は集結地へ進入後、師団攻撃命令下達後、師団攻撃命令下達後、対特殊武器戦を実施した。17日、敵航空機による師団予備隊の機動経路に対する化学攻撃を受けた際、隊長は偵察小隊に速やかに観測報告を実施させるとともに、自ら現場に進出して直接的な指導を行い、経路を早期に現状回復させた。18日、負傷を伴う汚染人員が発生した際、隊長は除染小隊に1後支連と協同して除染と治療・後送を迅速に実施し、早期に人的戦力の回復を図った。1特防は



斎藤 予備1佐



佐藤 予備1佐



田中 予備2佐

練度向上を図ることを目的として行われた。本訓練を通じ、隊員は地上とは違う空中で停止する不安定なヘリコプターからの射撃着眼等を修得するとともに、操縦手との射撃に関する各種連携要領について演練しその練度を向上させた。

千鳥ヶ淵で秋季慰霊祭 鎮魂の祈りを捧ぐ



第1普通科連隊は10月18日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で実施された令和4年度秋季慰霊祭において部隊拝礼を行い、先の大戦で亡くなった戦没者に対して鎮魂の祈りを捧ぐ。雨に執り行われた。

秋季北富士演習場定期整備 練磨のための道場を整備完了



ボックスカルバートの整備状況を確認する師団長(右から4人目)



コンクリートキャンパスによる溜槽を整備する32普連

3日に師団長が現地を視察し、演習場を良好な状態に整備していることを確認するとともに、整備に従事した隊員を激励した。関連 36面

作戦間、対特殊武器対処能力を随所に発揮し師団の戦力の損耗を局限し、その任務を完遂した。また今回の訓練検閲では、師団として初めて、斎藤隆則予備1佐(元第1後支支援連隊長等)、佐藤繁文予備1佐(元第103補給大隊長等)、田中博幸予備2佐(元第101野外病院隊長等)の予備自衛官3人が、補助官部にアドバイザーとして参加した。3人はそれぞれの勤務経験を生かした助言等により、師団兵站能力向上等に大きく貢献した。

Table with 2 columns: Award Name and Recipient. Includes '優秀隊員表彰' and '表彰' sections.

師団は10月31日から11月5日までの間、北富士演習場において令和4年度秋季北富士演習場定期整備を実施した。本整備は第32普通科連隊長を北富士整備隊長とし、約1300人をもって実施した。整備の内容として装軌車等の機動発揮のための機動路整備、機動戦闘車等の戦闘射撃を可能にする射場改修等を実施し、演習場の機能の維持・向上を図った。また長期安定使用のため、弾着区域防火帯整備、通信回線整備等の各種演習場機能を維持の整備を実施した。

慰霊祭は秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席の儀のほか、ご遺族代表、政府高官及び各政党代表者、他陸海・空各幕僚長等の参列のもと厳格に執り行われた。

# 第12旅団

## 令和4年度方面隊秋季演習場定期整備 任務遂行能力向上に資する整備 維持管理のための整備

旅団は10月31日から11月6日までの間、方面隊が実施する令和4年度方面隊秋季演習場定期整備に参加し、相馬原演習場及び関山演習場の定期整備を実施した。

本演習場定期整備では、旅団の任務遂行能力向上のための基盤整備及び演習場の維持管理整備を目的として、指揮の要

訣の実践、幕僚活動、部隊の基本的行動及び基礎動作能力を向上させた。特に今回の整備は、演習場等中期整備計画に基づく整備を実施するほか、

業務隊の要望を踏まえ演習場の効果的な使用に資する整備を実施した。具体的には16式機動戦闘車(MCV)射場の改修、また部隊の機動展開地域

の整備を相馬原・関山演習場で、また相馬原演習場では基本射場の改修(フラット化)や排水設備の整備など、さらに関山演習場ではMCV機動路の改修などを実施し

た。旅団は本演習場定期整備を通じて部隊行動等を演練するとともに、演習場の最適化推進及び作戦環境の醸成に寄与した。



MCV射場の射撃位置増設工事を実施する第12旅



伐木する30普連の隊員



機材を整備する2普連の隊員



検問所において身体検査の要領を演練する12特



弔銃を実施する儀じよう隊

相馬原駐屯地は11月11日、暖かな日差しが降り注ぐ相馬原駐屯地において、令和4年度群馬県自衛隊殉職隊員追悼式を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度同様に参加者を最小限に限定し、またソーシャルディスタンスの確保など徹底

して執り行われた。追悼式は厳粛な雰囲気の中、厳かに執り行われ、拝礼、黙禱に続き駐

自衛隊に対する感謝の言葉を述べられた。最後に第12後方支援隊で編成された儀じよう隊が弔銃を実施し、3発の銃声を暖かく晴



警察と共同して不審者の身柄確保の要領を演練する12特の隊員

第12特科隊は10月31日から11月2日までの間、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年以来3年ぶりの実施となる警察との共同訓練を、宇都宮駐屯地及び同駐屯地周辺において実施

した。本訓練は治安出動時における自衛隊と警察との共同対処に関する相互の指揮、運用要領等の実効

性の向上を図ることを目的として緊急輸送、共同調整所の設置及び侵入阻止の行動を主要演練項目として実施した。

訓練は県警の先導による緊急輸送を皮切りに、共同調整所及び検問所を設置して状況付与に応じた検問要領、監視、巡察等の対処を演練するとともに、共同調整所における情報収集、調整要領等についても演練した。また自衛隊及び県警との共

同により不審者、不審車両の検索及び身柄確保から引き渡しまでの要領などを一連の状況下で実施した。12特は本訓練を通じて警察との共同対処に関する相互の指揮、運用要領等を確認し、所望の成果を得ることができた。



飯山市文化交流館



上田市交流文化芸術センター

本コンサートは自衛隊長野地方協力本部からの依頼に基づき岳北防衛協会及び上田市防衛協会が主催する行事を支援し、聴衆に自衛隊の活動を幅広く周知理解の深化に努める目的で実施した。会場内では演奏を聴き感動する姿が散見される等、訪れた聴衆を大いに魅了し、盛大な拍手を送られ、盛況のうちに幕を閉じた。

### 12特 警察との共同訓練 共同対処要領の実効性を向上



### 令和4年度全自衛隊陸上競技会 2普連・13普連の3名が優勝

10月27日、朝霞駐屯地で第26回全自衛隊陸上競技会が開催され、第2普通科連隊及び第13普通科連隊から参加した3人が優勝、2人が入賞の快挙を果たした。本陸上競技会は各種目の参加標準記録を突破した陸・海・空の隊員が出場し、自衛隊の頂点を定める大会である。近年はコロナ禍の影響により、標準記録をクリアした成績上位者のみの出場となっており、以前と比べ出場が難しい大会となっている。訓練等多忙中、練成を重ねた参加隊員は厳しい戦いを勝ち抜き、見事な成績を収めた。

- ◎入賞者紹介◎
- ▼男子3,000m 優勝 大谷新及(優秀選手賞)
- 2普連 村山 京平 3普
- 第3位 (入賞)
- 2普連 溝澤 辰祥 3普
- 第4位
- 13普連 齋藤 拓弥 2普
- ▼男子10,000m 優勝 (円谷賞)
- 2普連 朝賀 勇也 2普
- ▼男子走り幅跳び 優勝
- 13普連 小堀 健斗 13普

第1施設団

# 鳥インフルエンザ災害派遣 器材隊を基幹として二四〇人態勢

施設団は11月4日からうら市における鳥インフルエンザ発生に伴う災害派遣を実施した。9日までの間、かすみ丸エンザ発生に伴う災害派遣を実施した。4日、茨城県かすみ丸



総監による現場視察



殺処分支援等の様子

うら市で高病原性鳥インフルエンザ陽性が確認され、茨城県知事は同日午前9時35分、陸上自衛隊施設学校長に対し災害派遣を要請した。

分区担任部隊である施設団長は同要請を受け、第101施設器材隊を基幹とし古河駐屯地に所在する第301タンク車中隊、第102施設直接支援大隊、第2高射特科群第337高射中隊に加え、施設学校及び武器学校からも所要の要員

フォローアップ集

【YouTube】

【Twitter】

の配属を受け、約240人の災害派遣部隊を編成した。その後、24時間態勢で約48万羽の処分支援等を実施して9日午前11時、すべての派遣活動を終了した。

## 方面隊秋季東富士演習場定期整備 「整備の本質」を追求し任務完遂に邁進

施設団は11月10日から18日までの間、令和4年度方面隊秋季東富士演習場定期整備を担任した。本演習場整備は方面演習場等運用・整備中期構想に基づき、作戦遂行能力向上に資する演習場の



平塚道崩落箇所の整備

最適化推進に寄与することとを目的として実施された。施設団と方面管内の各部隊は、演習場整備の実施に当たり、団長を整備隊長とする人員約1400人・車両約6000両による東富士演習場整備隊を編成し、整備任務に臨んだ。



幕僚長へ状況報告

11月14日、方面総監部幕僚長による現地視察を受け効果的かつ効率的な整備を進捗させていることを報告するとともに現地ででの激励を受けた。11月17日、施設団長は各整備地区の点検を行った。い、隊員の労をねぎらうとともに、演習場整備の教訓を収集・整理し、今後の演習場整備に反映するよう各部隊長に示して令和4年度方面隊秋季東富士演習場定期整備の任務を完遂した。

## 駐屯地警備担当者が参集 警備における課題を討議



電ヶ浦駐屯地は10月24日から26日までの間、駐屯地警備担当者参集訓練を実施した。本訓練は関東処総務部長を担任官として、関東処及び駐屯地各部隊の警備担当者に対し、機能別訓練や警備規則等の見直しに資することを目的として実施され、規則等の教育、図上検証、警備段階区分ごとの検証及び研究会が行われた。

3日間の行程で、防衛法制や警備規則等の教育及び警備に必要な知識の再徹底を図るとともに、駐屯地の地図を用いて図上検証を実施し、過去に生じた警備事例等に対する対処事例を踏まえ、警備上の問題点及び課題等を議論、最終日には議論を踏まえた意見発表会を行い、結果をまとめた。



電ヶ浦駐屯地は本訓練で得た研究成果をもとに、駐屯地警備のさらなる万全を図っていく。



Mシステムの開設支援を行う用賀支処隊員



ドラム缶を積載する富士燃料出張所隊員



補給品を積み込む火器車両部隊員

関東処は10月18日から11月30日までの間、電ヶ浦駐屯地等において、日米共同統合演習（KS23）に接続して行われた令和4年度兵站・衛生訓練に参加した。本訓練は基地兵站（野戦兵站との接続含む）における練度の維持・向上を図るとともに、南西事態に対する兵站・衛生の実効性向上に寄与することを目的として行われた。訓練に参加した各部・各支処等は各種コンテナ及び実補給品をもって正確かつ迅速な梱包・積載要領の演習を実施するとともに、不測事態等における増強要員の派遣態勢の確立に資するため、九州処に5人の隊員（火



有線構成を行う隊員

電ヶ浦駐屯地は11月5日、茨城県土浦市桜川畔において3年ぶりに開催された「第91回土浦全国花火競技大会」の運営支援を実施した。本大会は例年秋に開催されている花火の競技大会で、日本全国の花火師が集い技を競いあう。電ヶ浦駐屯地としては昭和43年から有線構成支援を実施し、大会競技間等における通信手段の確保を行っている。

今回は関東処総務部及び第320基地通信中隊から15人の隊員を派遣し、大会運営に係る支援に当たった。大会前日から当日にかけて、有線構成により通信網を構成し、野外電話機を用いた通信手段の開設・運営を行った。本支援で大会の整齊円滑な運営に貢献し、自衛隊と関係諸団体間における連携強化の他、自衛隊に対する信頼及び親近感の醸成が図れた。

## 関東補給処

# 04兵站・衛生訓練 練度の維持・向上を図る

新たな知見を共有した。器車両部、松戸支処及び古河支処を派遣し、移動要領等の確認を行った。また派遣隊員は現地で各補給処から参集した隊員と交流を深め、各種動作の練度を高めることにも

## 第42回つくばマラソン 給水で大会運営を支援

電ヶ浦駐屯地は11月13日、茨城県つくば市において開催された「第42回つくばマラソン」に、関東処及び航空学校電ヶ浦校から隊員4人を派遣し、大会運営を支援した。い、大会運営に係る支援に当たった。大会前日から当日にかけて、有線構成により通信網を構成し、野外電話機を用いた通信手段の開設・運営を行った。本支援で大会の整齊円滑な運営に貢献し、自衛隊と関係諸団体間における連携強化の他、自衛隊に対する信頼及び親近感の醸成が図れた。

2高群

# 米国で中SAM実射検閲 2個中隊が「優秀」獲得



中距離地对空誘導弾の射撃

第2高射科群(第37高射中隊、第335高射中隊)は10月13日から16日及び10月20日から23日までの間、米国マクシカー射場において令和4年度中SAM(O3式中距離地对空誘導弾)部隊実射訓練検閲を実施した。

新型コロナウィルス感染症の影響で337高中は3年、335高中は4年越しの実射訓練検閲となったが、両中隊は継続的に訓練を重ねて検閲に向けた態勢を万全にして

いた。実射検閲では航空自衛隊高射部隊と連携した対空戦闘を実施し、射撃部隊間の連携能力の向上を図り、337高中、335高中ともに「優秀」の成果を収めた。検閲に参加した335高中の発射隊曹 古橋3曹は「米国での実射検閲には初参加であったため、冷静な判断ができるように心掛けた。また米国の陣地の図上研究やイミューズアップを日本での訓練において、事前に確



警戒する古橋3曹

実に実施しておくことが大切だと感じました。今後の訓練においてもこの経験を生かしていきたいです」と力強く語った。2高群は本検閲の成果を分析し、さらなる対空戦闘能力の向上を図るとともに、首都防空の重要性を深く認識し使命感を持って日々の訓練にまい



小銃を整備する中西士長

進してい。本訓練検閲は主要検閲項目「指揮幕僚活動」及び「野外における一連の行動(部隊の基本的行動、隊員の基礎動作)」の2点を評価・判定する。その進歩向上により装備品を良好な状態に維持するとともに、装備品の故障発生に即応し、同部隊の任務達成に寄与した。



首都上空の情報収集



訓練を視察する総監(奥左)



自治体からの患者の引き継ぎ

東部方面衛生隊は11月3日から11日までの間、東京都が実施する東京府・神津島合同防災訓練に参加し、災害が発生した重症患者を島外へ搬送する医療救護訓練を実施した。当初、神津島診療所前

のスペースにおいて島内で発生した傷病者に対しトリアージを実施し、医官・看護官・救護員合計4人の編成にて神津島診療所から救急搬送が必要な患者を引き継いだ。その後、救急車にて神津島

へリポートまで搬送し、CH-47へ患者を収容した傷病者が、腎不全やショックを起こす病態)の疑いがあり、容態が急変する可能性があったため、衛生隊は今回、離島における突発的な大規模災害への対処に関する実動訓練に参加することで、離島災害対処能力の維持、患者搬送技術の向上及び東京都をはじめとする関係防災機関等との連携の強化を図ることができた。

シ通群

# 必要なシステム通信を確保 方面隊訓練検閲を受閲

東部方面システム通信隊訓練検閲を受閲した。群は11月10日から14日までの間、令和4年度方面

700人の隊員が展開し、方面隊の作戦に必要なシステム通信を確保すべく任務を遂行した。検閲では重要防護施設等の防護、不法行動対処等に必要システム通信を確保するため、群が保有する基地システム通信、野外システム通信及

び映像伝送の能力を各隊員が遺憾なく発揮するとともに、必通の信念を堅持し、創意を尽くして方面隊の作戦に必要なシステム通信組織の構成任務を完了した。また通信障害等発生に際しては、予備通信力を活用するとともに、部隊

衛生隊

# 離島災害対処能力の維持・向上 東京都・神津島合同防災訓練に参加

東部方面衛生隊は11月3日から11日までの間、東京都が実施する東京府・神津島合同防災訓練に参加し、災害が発生した重症患者を島外へ搬送する医療救護訓練を実施した。当初、神津島診療所前

て、いかなる時も方面隊内の部隊が必要とするシステム通信回線を構成・維持・運営する。



CH-47による患者搬送

点滴や医療機器を完全に準備した。またモニターやAED、点滴ポンプ類は全て航空搬送可能な物を選定することで電波干渉にも留意した。さらには方が一の場合に備えて治療もできるような医官用医療のつも携帯した。

後支隊

# シ通群の任務達成に寄与 第301通信直接支援隊訓練検閲

東部方面後方支援隊は11月9日から14日までの間、朝霞・勝田駐屯地等において、東部方面システム通信群が受閲する訓練検閲と連携して、第301通信直接支援隊に対する訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は主要検閲項目「指揮幕僚活動」及び「野外における一連の行動(部隊の基本的行動、隊員の基礎動作)」の2点を評価・判定する。その進歩向上により装備品を良好な状態に維持するとともに、装備品の故障発生に即応し、同部隊の任務達成に寄与した。

本訓練検閲において優秀隊員褒賞を受賞した中西士長は「火器整備係として、本訓練検閲に参加しました。検閲間、約70丁の89式5.56mm小銃の点検・整備を実施しました。使用部隊の希望する整備完了時刻に合うかギリギリでしたが、皆と協力して、無事時間までに完了することができました。今後も、さらなる練度の向上と技術の練磨に励んでいきたいです」と所感を述べた。

### 神奈川県

## 「総合的な探究の時間」を支援 高校生たちにライフハック体験

自衛隊神奈川県地方協力本部相模原地域事務所は11月1日、神奈川県立津久井高校の「総合的な探究の時間」を支援した。本支援は高校から要望を受け、9月1日に実施された防災講話に引き続

くもので、実際に生徒たちにはサバイバル(自衛隊のライフハック)体験をさせて災害時に何ができるかを考えさせる事を狙いとしている。当日は校長先生、担当

し、座間駐屯地において第4施設群の支援を受け、全般説明を受けた。その後4コグループにわかれてロープワーク、6人用天幕設置、野外衛生救急法体験等を行い、昼食に体験食をした。午後から一



救急法を体験する参加者

研修及び駐屯地史料館を見学し、陸上自衛隊に対する関心と理解を深めた。校長先生からは「毎年このような充実したサバイバル体験をさせたい」と感想があり、自衛隊に興味を持ったようであった。相模原地域事務所は今後も、募集に寄与できるよう学校との連携を密にしながら、自衛隊の活動を積極的にアピールしていく。

### 茨城地本

## 入隊前に自衛隊を体験 土浦駐屯地記念行事を活用

自衛隊茨城地方協力本部は11月12日・13日の両日、土浦駐屯地開設70周年記念行事において各種広報活動を実施した。特別公開日として設定された12日は、土浦駐屯地広報班の協力の下、入隊予定者説明会、観閲行

進予行の見学、戦車の体験試乗、装備品展示など充実した内容であった。参加者からは「普段経験できない素晴らしい体験ができた」とのうれしい声を聞くことができた。また翌日の記念行事本番では、制服試着コーナー

及び組み組体験コーナーを設けた広報ブースを開

設して、多くの来場者に対し、自衛隊をアピールした。茨城地本は今後も、各駐屯地等との連携を強化し、一人でも多くの志願者を獲得できるよう努めていく。

### 静岡地本

## 子どもたちに大人気 タミヤフェアに自衛隊車両登場



紙飛行機を作る子どもたち

自衛隊静岡地方協力本部は11月19・20日の両日、ツインッセ静岡(静岡市)で行われた「タミヤフェア2022」で教育支援施設(滝ヶ原駐屯地)第34普通科連隊の支援を受けて広報活動を実施した。教団が96式装甲車、34普通科軽装甲機動車を展示し、静岡地本は迷彩服試着体験、子ども向けの紙飛行機づくり、自衛隊の活動紹介パネル展示、自衛官採用制度説明などを行った。

### 新潟地本

## 体験搭乗と装備品展示で大きな賑わい 募集対象者に自衛隊をPR



CH-47に搭乗する参加者

自衛隊新潟地方協力本部は9月17日、高田駐屯地において募集対象者を含む29人に対し、CH-47の体験搭乗を行った。訪れた参加者は、搭乗前に安全教育を受け第12ヘリコプター隊のCH-47に搭乗し、上越市上空の空の旅を楽しんだ。参加者から「初めて自衛隊のヘリコプターに乗るのに注目を集めていた。テレビでしか見たことがなかった橋を架ける車を初めて見れて良かった。思っていた以上に大きくて圧倒された」とその大きさと迫力に驚きの声があり、体験搭乗と併せ高い広報効果があった。

会場には多くの模型ファンなどが詰めかけ、自衛隊ブースでは迷彩服を試着して車両と記念撮影をする親子や、夢中で紙飛行機を折る子どもの姿が見られた。また大きなタイヤが付いている自衛隊車両に興味津々な様子で「これはどんな車ですか」と質問する子どもたちも。隊員が優しく説明

が聞かれた。また大きな自衛隊ブースでは迷彩服を試着して車両と記念撮影をする親子や、夢中で紙飛行機を折る子どもの姿が見られた。また大きな

親交を深める場面もあった。静岡地本は今後も、地域のイベントに参加し、自衛隊の活動への理解促進を図っていく。

## 訓練所感

第3陸曹教育隊  
共通教育中隊  
3曹陸曹 笠原 淑亨



「俺に続け、俺を見よ」の体現

私は令和3年8月から、第3陸曹教育隊共通教育中隊で陸曹候補生課程の助教として勤務しています。共通教育中隊にはさまざまな職種が入学してきますが、入校までの勤務において野外勤務の経験が浅い学生も少な

くありません。そのような学生も含め「全員を如何に成長させるか」を常に自ら考え、目標を高く設定して日々の教育に取り組んでいます。しかし、まだまだ自身にも改善すべきことが多く、特に同僚との情報共有が不十分であっ

私は陸曹候補生課程において、小火器射撃等の武器訓練や戦術訓練での各種動作展示を担当し、さらには総合訓練における小隊命令下達等、重要な場面を担当する機会を頂く場合があります。この際、私は区隊長の指導事項及び着眼を具体化する

新型コロナウイルス感染症の状況が長く続いているが、教育隊、中隊では毎期新しい学生を受け入れ、教育に当たっています。教育隊長要項事項の一つ「俺に続け、俺を見よ」の体現を自分なりに愚直に実行し続けるとともに、学生全員を真に戦える陸曹に育成できるよう、今後も邁進する所存です。

たと反省すべきことが多々あります。例えば私が不在となった日の指示事項に不備があった際には、同僚の助教に迷惑をかけたしまったこともありました。振り返れば「仲間と密接に情報共有・連携する」というのは、私自身が学生に対して普段から教育していることであり、教育隊助教として自ら模範を示さなければならぬことです。仕事量が多くなった時ほど計画的に優先順位をつけて業務を進める必要があると痛感しています。

のはもちろんのこと、関係する教団類に記載された事項の細部まで努めて具体的にイメージし、記載事項が必要とされる理由までよく考え、学生に伝えられるよう心掛けています。その結果、学生の理解度を高め、疑問を残さない状態で卒業させることも、自らも成長する姿を学生に示すことができていると思っています。

# 最先任 上級曹長

## 「安全文化の継承」 第4対戦車ヘリコプター隊 高瀬 栄 准陸尉



第四対戦車ヘリコプター隊

令和2年8月1日付で、第4対戦車ヘリコプター隊第4代最先任上級曹長に上番した高瀬准尉です。

第4対戦車ヘリコプター隊は木更津駐屯地に所

在し、海に面した風光明媚な地域にあり、東部方面航空隊に所属する方面隊唯一のヘリ火力戦闘部隊です。装備はヘリコプター「AH-1S」と「OH-1」の2機種を運用し、方面航空隊の任務達成のため日々訓練にまい進しています。

昨年3月の部隊改編で3コ部隊から2コ部隊へ

縮小し、人員・装備が減り、第4対戦車ヘリコプター隊長 渡辺 2佐が掲げる要事項である「一機当り」「任務の完遂」として、航空安全を第一

いかに曹士に理解させ実行させるかに留意しています。

また航空機を扱う部隊として、航空安全を第一

に考えるとともに、少ない航空機をいかに効率よく運用させ、可動率を下げずに任務を完遂させることができるかということに念頭に置いた訓練を行っています。その際、安全に対する確固たる意識を持つ事が重要であり、隊員一人一人がそういった環境の中にあることを理解させ、任務の完遂に取り組みでいけるような環境づくりを大切にしています。

最後に我々第4対戦車ヘリコプター隊は、航空機を安全に運行するため、さまざまな努力・技能の向上に努め日々進化してまいります。

# 「やるか、絶対やるか」 第12特科隊 小坂 亜弥 1等陸士



今月のフェアレディは、第12特科隊に所属する小坂 亜弥1等士です。小坂1等士は神奈川県出身の20歳で、カワイイ物収集が趣味でありながら、車はシマ、バイクはニンジャ250に憧れるかわいかわい系女子です。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？  
「人を守る仕事をしたかった」と思ったことがきっかけです。これまでの教育において日ごろの訓練の積み重ねが多くを命を守ることに繋がると強く感じ、日々精進しています。

Q2・現在の職種を教えてください。  
対地、対海上火力の骨幹として、最前線で戦う部隊をサポートできることに野戦特科の魅力を感じています。

Q3・現在の職務は？  
本部管理中隊の射撃指揮班に所属し、無線通信手として勤務しています。

Q4・休日の過ごし方は？  
映画鑑賞をしながら筋トレや掃除をしています。平日できないところを何も考えずに掃除しつつ、途中気分転換に筋トレやストレッチをするのが好きです。プランクや二トウチェストをよくやっていますが、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたらジムに行き器具を使った本格的な筋トレもやってみたいと思っています。

Q5・今後の目標は？  
射撃指揮班の一員として信頼される無線通信手になるとともに、射撃指揮の基礎をしっかり学び

早く陸曹として活躍することです。私のモットーである「やるか、絶対やるか」の言葉とおりの、やらないという選択肢を持たず絶対やり抜く精神を常に意識して、努力し続けていきたいです。

# 東方男児

## 「通訳のやりがい」 第101施設器材隊 田上 孝也 3等陸曹



今月の東方男児は、第101施設器材隊本部付隊に所属する田上 孝也3曹です。田上3曹は熊本県熊本市出身の32歳、笑顔と優しさにあふれ、現在は通信陸曹として勤務しています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？  
東アィモール能力構築支援の通訳を通じて、自らの知見を広めるために熱望しました。私は中学生の時に英検2級を取得していましたが、自衛隊で普通英語課程も履修し、準備をしてきました。

Q2・現在の職種を教えてください。  
前期教育の班長から、施設科を勧められました。

Q3・国際貢献活動に参加した理由は？  
Q4・通訳として苦労したことは？  
現地の人とは個人ごとの癖があり、なかなか聞き取れないことが多く、自ら

Q5・国際貢献活動で得たことは？  
さまざまな人や文化に触れることができ、自ら

Q6・自衛隊生活で印象に残ったことは？  
東アィモールでは現地において、英会話能力向上の必要性を痛感するとともに、食文化の違いでカルチャーショックを受けました。ただ一番印象に残っているのは、部隊に帰ってからは、部隊格闘指導官になった時のことです。特に養成訓練間では、指導法で人に教える難しさを痛感しました。

Q7・今後の目標は？  
英語能力と格闘指導官としての職能のさらなる向上を目指して、部隊に貢献していきたいです。

# オピニオン 一言申し上げる

## 東方オピニオンリーダー 三好 俊章



板妻駐屯地から推薦されオピニオンリーダーを仰せつかった三好 俊章です。今年で4年任期の見方が大きく変わり、身近に感じられました。

4年目をまもなく終るつもりです。今年の10月に北部方面研修では、北海道に行きホークミサイルの詳しい説明を受けました。そこで今までは「よくわからないコンテナ積んだトラック」と思っていた物が(中を見せたい)ニューターの塊でジストムの要である事を知りました。知る事によって見方が大きく変わり、身近に感じられました。

73式装甲車や駐屯地の奥に出番を待っている雪上車、海上自衛隊のミサイル艇、千歳基地に待機している政府専用機が初めて見る物が幾つもありました。東富士演習場近辺に住んでいるので、ある程度の物は見たつもりでしたが、地域の違いも含め勉強になりました。

私の任んでいる静岡県は災害が多いので、オピニオンリーダーの任期の間だけでも、熱海市の土石流災害と静岡市清水区の水害の自衛隊の出動がありました。熱海の際は7月で隊員のアント生活は暑くて大変だったと思はるべく以前別のイベントで自治体担当者が「警察は泊まる場所を用意しないといけないが自衛隊は用意してくれるから助かる」と聞いたことがあります。

静岡県の水道取水口の土砂の撤去では、何日か

# 編集後記

季節は「師走(しわす)」である。年内に片を付けなければならぬ仕事や年始早々にある仕事の目途をつけるため、あらゆる業種で大忙しであろう。仕事だけではない。年末年始は、クリスマスや正月に伴うさまざまなイベントが私生活でも目押しである。

忙しいこの季節を迎えるに当たり、小官がいつも大切にしていることがある。それは1年間に自分が振り貯めた写真をじっくり振り返ることである。人間の記憶とは不思議なもので、時間の一場面を切り取ったに過ぎない写真であっても、それまつわる人との会話や当時の匂いまでも思い出すがある。何百枚もの写真を眺めていると稀にそういうものに出会う。今年はどうな記憶に出会うだろう。心温まるものであってほしい。

家族と自分の過ぎ行く時間をかみしめながら、新しい一年を迎えるための「心」を整えようと思う。